

感謝の心を感謝の心で いただきました



水の恵みに感謝
「感謝米」を水源地に

過日保護者の皆様には御案内
いたしましたが、右の新聞記事
にありますように「磐田用水
東部土地改良区」から森町
の学校給食にと「感謝米」
を贈呈していただきました。
これは同改良区管内の袋井
・磐田・森の各市町の農家
の方々が、「お米が収穫でき
るのは、上流域で森林を守
ってくれるおかげ」と水源
地である当町に収穫した新
米を贈呈してくださったも
のです。

このお米を使った給食を

昨日(16日)、泉陽中学校区の児童生徒・園児全員が、感謝の心と共にいただきました。職員から今回の経緯を話し、学級でも森と水の関係と働きについて考えました。日本もかつては、経済優先で自己本位な工業化による環境破壊によって、農業や沿岸漁業が打撃を受け、「公害」が大きな社会問題になりました。しかし、現在私たちが水や農作物、海産物を安心して口に入れることができるのは、そうした環境破壊への反省から自然や森を大事にしよう、復活させようと努力してきたからではないでしょうか。

本校校区の子供たちが、身近な自然や森に感謝し、この自然の恵みを未来永劫守っていこうとする気持ちをもってくれたら…そんな願いを込めて感謝米給食を実施しました。
(教頭：寺田敦朗)

磐田用水東部土地改良区

上流域に感謝 新米贈る

北遠や長野・塩尻へ 農家16軒が12俵分

同改良区 共 磐田 内の袋井 農家16軒 12俵分を 贈った。関係者による 日本人1人の米消費 量は年間半袋といひ、 寄附は24人が1年間食 べられる量という。 古くから袋井などは 大雨が降るたびに洪水 被害に悩まされていた 地域。用水補給や耕地 整理で農業が安定した のは1910年ほど。 永田理事長は「そ れだけに大井川の下流 域で農業ができる幸せ への気持ちは強い」と いう。感謝米は教育委 員会や森林組合などか ら学校給食や福祉施設 に振り分けられる。来 年以降はさらに規模を 大きくしていく考え。

中学生のための音楽会 本物の芸術に触れるひととき



日本フィルハーモニー交響楽団

1956年創立。1985年からは自主運営の財団法人となり、「市民とともに歩むオーケストラ」、「人・音楽・自然」をテーマとして、東京都を中心に年間約160回の公演を行っている。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」劇中曲の演奏も担当している。

川瀬賢太郎 指揮者

1984年生まれ。東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻（指揮）を卒業。今、最も注目を浴びている若手実力派指揮者の一人。現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者。ドラマ「のだめカンタービレ」で玉木宏の指揮指導にあたったことでも有名。

県で主催する「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業～中学生のための音楽会」に、昨年度に続いて本校は当選し、今年度は1月26日（木）にグランシップ中ホールで、川瀬賢太郎指揮による日本フィルハーモニー交響楽団、

チャイコフスキー

- ・ 歌劇「エフゲニー・オネーギン」Op.24より“ポロネーズ”
- ・ 交響曲第五番ホ短調Op.64

の演奏を1年生が鑑賞します。

それにしても今年度は“超”がつく一流のオーケストラと指揮者による演奏であり、それを鑑賞できる1年生は本当に幸せだと思います。

中学生のための音楽会～この音楽会は県内の中学生に本格的なホールでの音楽鑑賞会を提供し、文化芸術の素晴らしさや鑑賞マナーを知ってもらうことを目的とする1時間程度のコンサートです。



昨年度のグランシップでの一コマ

（教頭：寺田敦朗）